

行政の窓



平成18年 特用林産統計について



【特用林産物生産額】

道内での平成18年の特用林産物総生産額は、約102億円（対前年比105.9%）となっています。

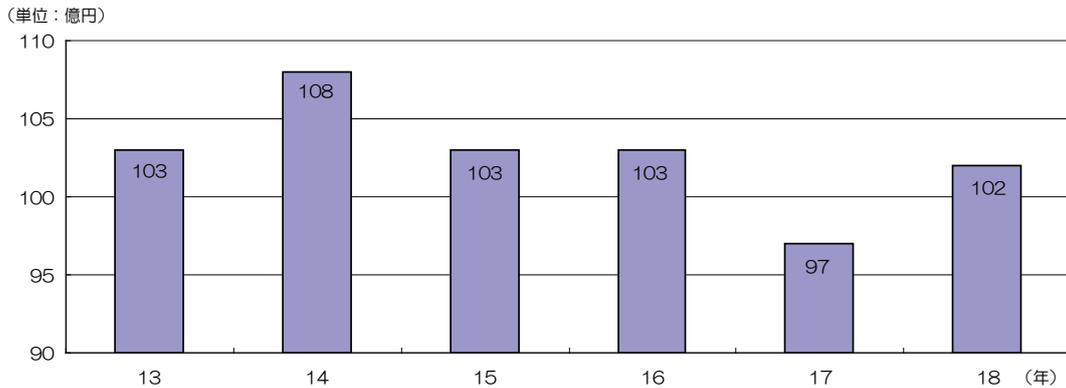


図1 特用林産物生産額の推移

【きのこ類の生産動向】

平成18年の生産額は約93億円（対前年比104.4%）、生産量は16,782t（同97.9%）となっています。

このうち、道内で最も生産者の多い「生しいたけ」は、原木、菌床あわせて生産額が約33億円（対前年比99.1%）、生産量が3,998t（同99.0%）となっており、栽培形態は、原木栽培から菌床栽培への移行が進んでいます。

その他の主なきのこ生産量では、なめこが1,629t（対前年比104.0%）、まいたけが2,204t（同102.0%）と増加したものの、えのきたけやぶなしめじ、エリンギは減少しています。

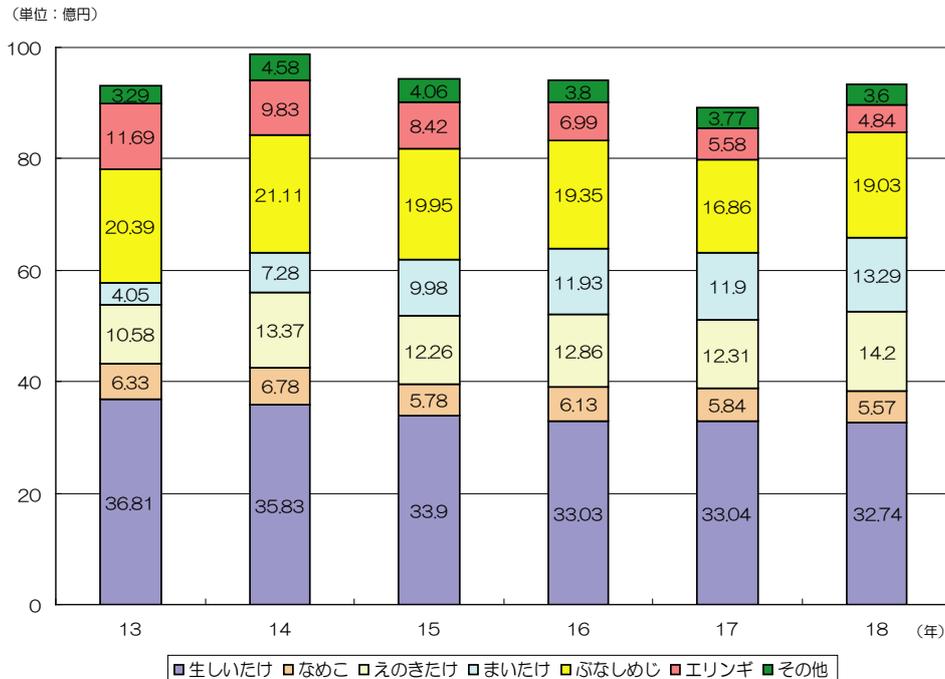


図2 きのこと類の生産額の推移

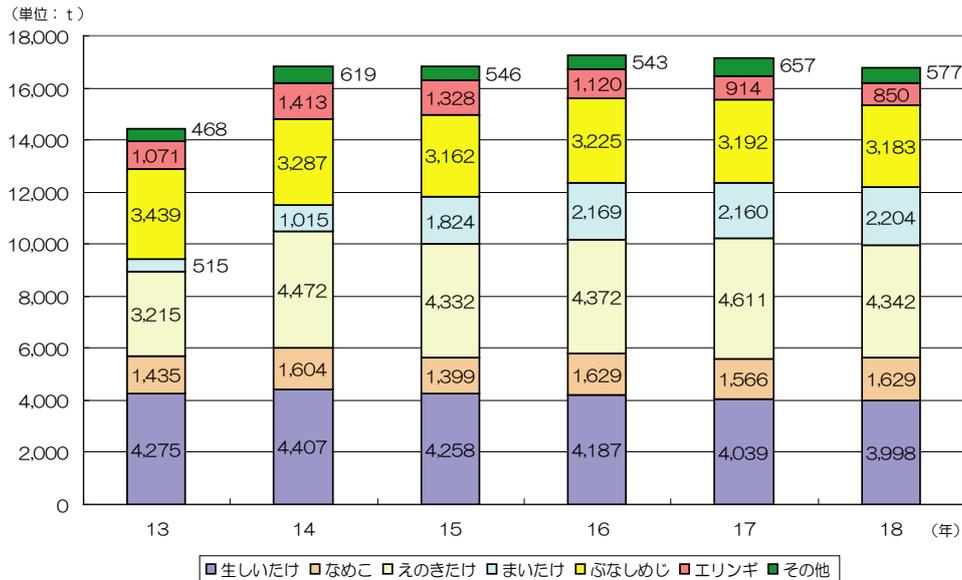


図3 きのこと類の生産量の推移

【木炭の生産動向】

平成18年の生産額は352百万円（対前年比112.4%）、生産量は2,938t（同93.6%）となっています。また、輸入量は年々増加しており、平成18年の輸入量は6,231t（対前年比107.8%）となっています。

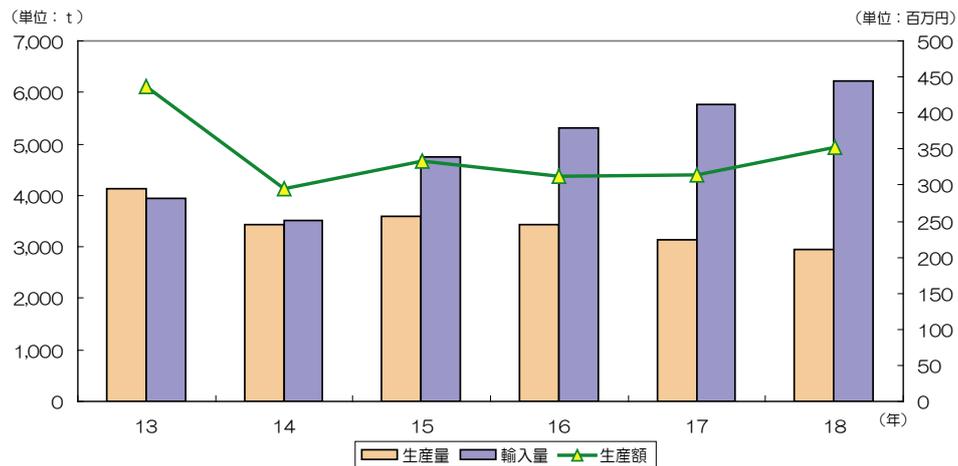


図4 木炭の生産量、輸入量及び生産額の推移

【山菜類の生産動向】

平成18年の生産額は559百万円（対前年比130.9%）、生産量は2,311t（同120.6%）となっています。道内における山菜類の生産は、天然物の採取が中心となっています。

表1 山菜類の生産量及び生産額の推移

区分		H13	H14	H15	H16	H17	H18
ふき	生産量	1,871	1,804	2,010	2,461	1,756	1,802
	生産額	370	431	400	485	346	308
うど	生産量	185	241	198	152	85	291
	生産額	74	94	78	56	40	132
たけのこ	生産量	77	18	21	28	37	113
	生産額	40	9	8	14	20	64
わらび	生産量	141	114	120	83	34	100
	生産額	72	61	65	35	19	53
その他	生産量	13	11	8	8	4	5
	生産額	4	3	3	3	2	2
合計	生産量	2,286	2,188	2,356	2,732	1,916	2,311
	生産額	561	598	555	594	427	559

(水産林務部林務局林業木材課林業担い手グループ)